

県立長野図書館 戦後80年特別企画

読ませなかったものと読ませたかったもの

―戦時下における「読書指導」を通して「知る自由」を考える―

を開催します

日中戦争の勃発(1937年)以降、言論や思想の統制が強まっていく中、国の挙国一致の方針に従って県立長野図書館(長野県中央図書館)は県内の農村図書館や青年会などに向けて「読書指導」を展開しました。

当館に残された資料をもとに、戦時下に国や図書館が国民に読ませようとしたものは何か、どのように「読ませたかった」のかをひもときながら、改めて「知る自由」について考えます。

1 開催期間 令和7年7月26日(土)～9月25日(木)

2 場所・時間 2階一般図書室・開館時間中は自由にご覧いただけます
(平日9時～19時、土日9時～17時/毎週月曜、月末最終金曜は休館)

3 内容

【読ませたかったもの】

(1)「読書普及」活動の様子(～昭和16年頃)

- ・農村向け図書、時局向け図書の紹介
- ・様々な文庫活動：貸出文庫、時局文庫、国民精神総動員文庫

(2)当館資料等から見る「読書指導」の展開(昭和17年頃～)

- ・『青年団読書会に関する文書綴』
- ・『下高井平穂青年沓野分団読書練成会概説』
- ・『小野青年団読書状況調』
- ・『(県立長野図書館)当宿直日記』(昭和19,20年度分)
- ・『読書会指導要綱』(国立国会図書館デジタルコレクションより) 等



【読ませなかったもの】

戦後70年特別企画「発禁1925-1944：戦時体制下の図書館と知る自由」(*)
で用いた資料、パネル等を改めて展示します。

(※平成27(2015)年に当館で開催した企画展)

4 その他

詳細は別添チラシもしくはホームページをご覧ください。

<https://www.knowledge.pref.nagano.lg.jp/index.html>



(問合せ先)

担当 教育委員会事務局生涯学習課
総務担当 馬場、干川
電話 026-235-7439 (直通)内線 4423
E-mail shogai@pref.nagano.lg.jp

(内容に関する問合せ先)

担当 県立長野図書館総務企画課
山田、槌賀
電話 026-228-4921 (直通)
E-mail naganotoshokan@pref.nagano.lg.jp